

春号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和4年7月10日(日)10:00~12:00

場所：とんがりふれあい館ホール

定員：20名(抽選)

内容：エコ教室 テラリウムづくり

日時：令和4年8月28日(日)10:00~12:00

場所：とんがりふれあい館ホール

定員：20名(抽選)

内容：季節の寄せ植え

* 受講料 ¥500

* 諸般の事情により定員変更あり



【記念樹交付日】

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付者

日時：令和4年4月24日(日)10:00~12:00

日時：令和4年5月22日(日)10:00~12:00

日時：令和4年6月26日(日)10:00~12:00

* 市内に住宅を新築または購入された方へ苗木を
1本プレゼントしています。

申請期間は新築または購入日から1年以内です。

* 当日検温とマスクの着用をお願いいたします。

ようやく寒い冬が過ぎ暖かい春がやってきました。ウメなど早春を彩る花は例年に比べると開花は遅れていました。しかしここにきて一気に蕾が膨らみ色々な花が咲きだしてきました。蜜を集めるミツバチも忙しそうに飛び交っています。これからは明るい色に染められる季節となります。とても楽しい時季です。春を感じに出かけてみませんか。新たな発見があるかもしれません。



My ガーデニング・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

この時季は雨や水やりによって水分を吸収し芽を膨らませます。乾燥は要注意です。乾いたらたっぷりと水をあげます。時間帯は午前中が適しています。風があると余計に乾燥が進みますので植え替えて間もない場合は特に注意が必要です。花が咲いている場合は花にかかると傷んでしまいますが、そうでなければ頭から全体にかけてあげます。鉢植えで冬の間乾燥で枯れたようになってしまった場合でも諦めずに水をかけ続けてみてください。もしかすると根元に近い部分が枯れずに芽を吹くかもしれません。鉢植えの冬越しは今年のような寒さがきつい年は厄介です。特に常緑樹はその傾向が強いですね。

【植替え】

この時季になると落葉樹の適期は残り少なくなります。遅すぎるといえます。常緑広葉樹や針葉樹は今年の芽が伸び出す前までが適期になります。しかしゴールデンウィーク頃になると新しい葉が開き始めますので枯らしてしまうことが多くあります。どちらもポイントは新芽の状態です。ただし鉢植えの樹木を庭に植え替えることは、根を痛める心配が少ないので大丈夫です。植えこむときの準備は前もって赤玉土、腐葉土などをその土とよく混ぜ合わせておくことです。植物は特に土壌環境がその後の成長を大きく左右します。そしてもう一つ大事なことは深植えしないことです。根は新鮮な酸素が必要です。

【肥料】

2 月から 3 月にかけて寒肥をあげましたか。寒肥とは冬の間にあげる有機質肥料のことです。もしまだでしたら急いで発酵済み油粕などをあげてください。ツツジやシヤクナゲなどの開花後にはお礼肥として少量の肥料をあげるようにします。ただしチッソ成分を多めにあげてしまうと軟弱に育ち病害虫も付きやすくなります。成分の低い肥料を選ぶと失敗は少ないです。肥料は少なくとも植物は枯れませんが多すぎるとは枯れてしまうこともあります。加減が大事ですね。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。春先に芽が伸び始めるとアブラムシが多くの植物に発生します。ただこの時季には葉が柔らかいため薬剤によって傷んでしまうこともあります。カイガラムシも退治が厄介な害虫です。6 月頃に孵化する種類が多いのでその頃は薬剤散布の効果が高いです。イモムシの仲間も柔らかい葉を好んで食害し葉がなくなってしまうこともあります。マユミやマサキそれにボックスウッドなどにその被害がみられます。近頃は生垣に利用されているヒイラギモクセイやサンゴジュにハムシ類が大量に発生しひどい状況になっているのを多く見かけます。発生初期までに殺虫剤散布をしなければなりません。有効成分がアセフェートの農薬の散布がとても効果が高いです。またうどんこ病も梅雨に入る前までは多くの植物に発生します。罹病してしまうと白い粉を吹いたようなその病徴はいくら薬剤散布をしても取り去ることはできません。下の写真は株元に穿孔害虫が入って内部を食い荒らしています。スプレ-の殺虫剤で退治します。

**【剪定】**

常緑広葉樹はこれからが剪定の時季です。ツバキやサザンカは花後の早い時季に剪定を行うと次の花芽が順調に育ちます。アカマツやクロマツのみどり摘みがゴールデンウィークの時季が適期です。新芽を摘んでおくだけで綺麗な姿になります。コニファーもこの時季には刈り込んでおくとし新しい芽が吹き出します。落葉樹は今年の芽が固まるまでは行わないようにします。ツツジなどは花後には花柄を摘んでおき種ができないようにします。



* ツバキやサザンカの剪定はこのようなよく成長している新芽の先で切るようにします。そうすると丈夫な枝が伸びだします。赤線の所です。

【身近な樹木の紹介】**トサミズキ（マンサク科トサミズキ属）**

先日のミニ盆栽教室で植えこんだトサミズキです。この時季には黄色の房状の花をつけます。落葉樹で新緑も秋には紅葉も楽しめます。近縁種のヒユガミズキは葉も花も小ぶりです。なぜ早春の花の多くが黄色なのでしょうかね。蜂などに見つけてもらいたくて？